

ひとりひとり どんなひと？

～写真家大西暢夫が出会った生き方～

被写体と対話を重ね、関係を紡ぎながら撮られた写真や映画を通して、誰もがその人らしく生きられる社会を考えてみませんか？

各作品の詳細は裏面をご覧ください。

映画「オキナワへいこう」

日時：2023年12月3日（日）13時～14時半

会場：東急リバブル町田センター

料金：1000円（要申込）

映画「オキナワへいこう」とトークイベント

上映会后、大西暢夫監督のお話を伺います。

日時：2023年12月5日（火）13時～16時

会場：町田市役所2階 おうえんルーム

料金：1500円（要申込）

写真展「ひとりひとりの人」

①期間：2023年11月30日（木）～12月4日（月）

10時～18時（12月4日は17時終了）

会場：東急リバブル町田センター

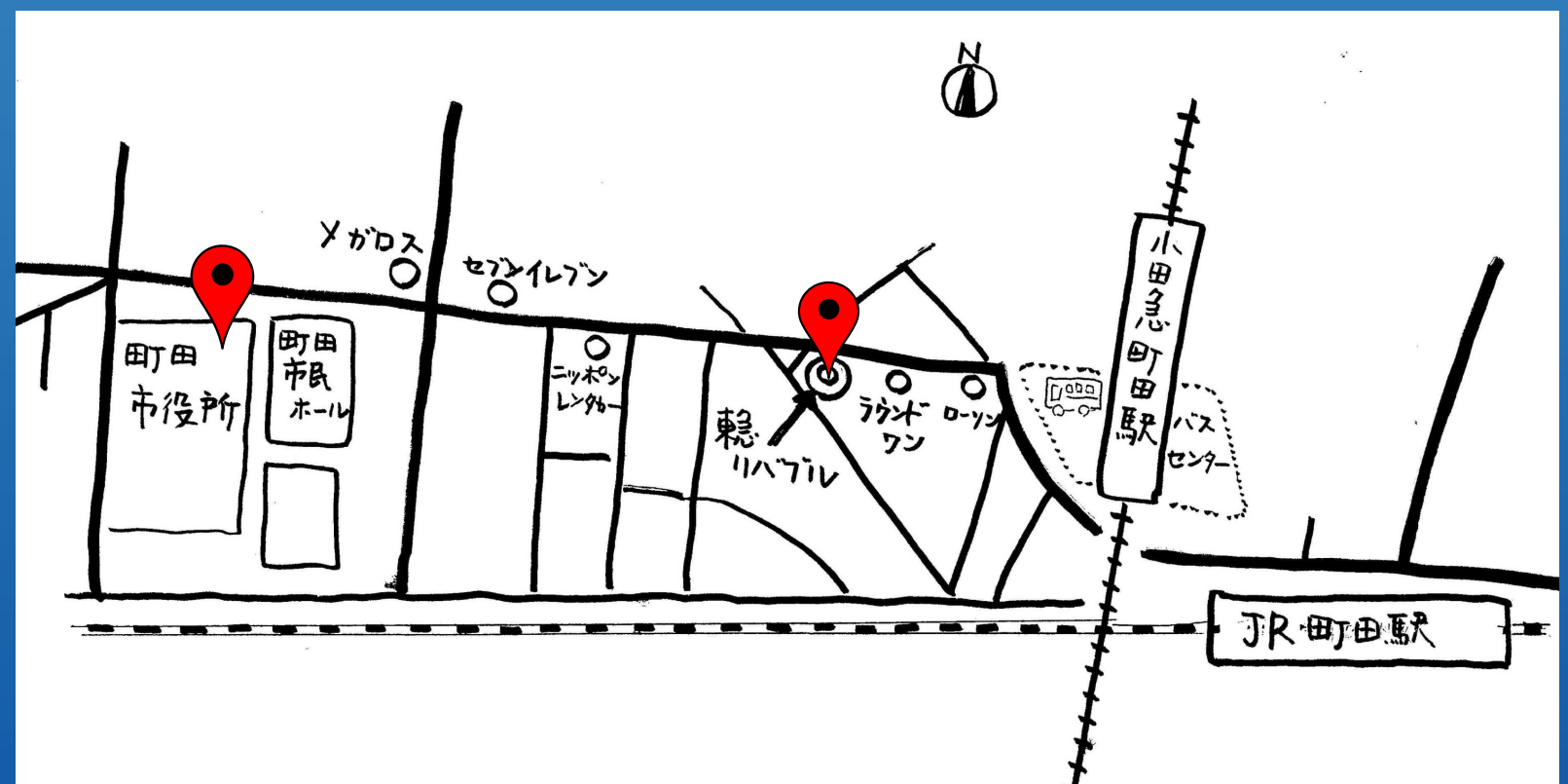
②期間：2023年12月5日（火）

10時～13時

会場：町田市役所2階 おうえんルーム



イベント申込はこちら



主催/WA温
協力/東急リバブル町田センター
町田市地域活動サポートオフィス

第17回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」企画

【下記でも申込みことができます。】

一問合先

090-7817-5965(岡本)

kei-okamoto@mail.goo.ne.jp



映画「オキナワへいこう」

2018年/81分

監督・編集・撮影：大西暢夫

精神病棟で暮らしている1人の女性が夢を語った。

「一度でいいから、沖縄へ行ってみたい」

夢を実現する為、有志の看護師達が動き出す。

揺れ動く気持ち、課題

扉の向こうとこちらを隔てるものは何か

たかが沖縄旅行、されど沖縄旅行

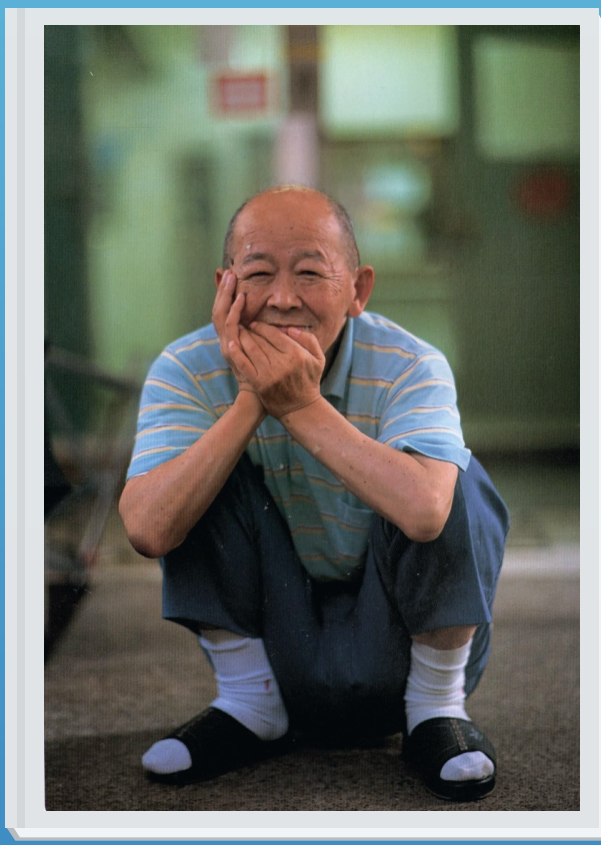
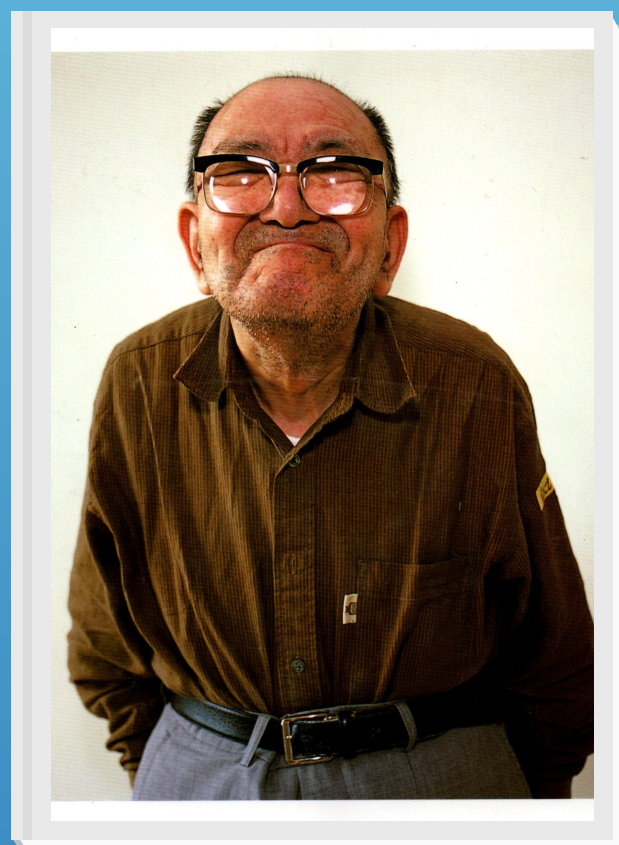


写真集「ひとりひとりの人」 —僕が撮った精神科病棟—

2004年 精神看護出版

精神科病棟の生活
壁の向こう側の世界とは

「僕は、精神科病院の中身を知りたくて撮ってきたのではない。
そこにいる“ひとりひとりの人”を知りたくて撮ってきたのです。
彼らと出会えば出会うほど、
“偏見”という言葉から遠ざかっていくのです。」
(あとがきより)



大西暢夫氏プロフィール

写真家・映画監督

1968年生まれ 写真家本橋成一氏に師事。

写真集『おばあちゃんは木になった』（第8回日本絵本賞）

『ぶたにく』（第58回産経児童出版文化賞大賞、第59回小学館児童出版文化賞）

『ホハレ峠 ダムに沈んだ徳山村百年の軌跡』（第36回農業ジャーナリスト賞）

最新作『和ろうそくは、つなぐ』等多数。

ドキュメンタリー映画『水になった村』（EARTH VISION地球環境映像祭最優秀賞）

『家族の軌跡』 『オキナワへいこう』を制作。



障がいや生きづらさを抱えていても
自分らしく自由に生きる

WA温はどんな人にも自分らしく生きる

『生き方の選択肢』があるということ

共に考えていくキッカケ作りをしていきます。

